

「その1」 (答えは解答カードの 1 にマークしなさい。)

【一】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題にあたり一部表記を改めました。)

【一】ほとんどの人間が、「複雑」なものよりも、「単純」なものを望んでいる。自分の生き方をできるだけシンプルなものにしたい、と感じる。それは、複雑なものは頭を悩ませ、把握も処理も難しく面倒だからだ。難しいことは、(A) 苦しいこと。だから、できるだけ避けたいくなる。これは生き物の本能かもしれない。

【二】現実というものは、非常に複雑である。世の中も、社会も、人間関係も、すべて単純ではない。だからこそ、できるだけ「割り切つて」単純に捉えよう、という方向性が自然に生まれる。

【三】ただし、その単純化のプロセスで、「割り切る」という言葉に表れるように、ある程度「決めつける」ことが必要になる。もやっとした広がりや、ある一点で代表させ、そのシンボルによって認識する、という行為だ。「単純化」「デジタル化」などと表現しても良い。

【四】自分に対して、「文系だ」と決めつけることで、① 目先の面倒を切り捨てることができた。たしかに単純になっている。そして、その単純化の過程で失われたものが、科学というわけである。

【五】科学とは、民主的にみんな確認をするシステム、つまり、他者と共有できることが基本となる。このとき、数字による正確なコミュニケーションが必要になるし、また、観察されたものを分析するときの厳密さも問題になる。

【六】「科学者は、科学でなんでも解決できるとおごっている」と言う人がいるけれど、それはその人が勝手に思い込んでいる印象である。(B) 、「科学ほど「謙虚」なものはない。ものごとを少しづつ確かめながら進んでいる科学の基本姿勢は、傍目には、(X) ではなく、(Y) である。そこまで慎重になる必要があるのか、と思えるほどだ。

【七】ちよつとした質問に対しても、「まあ、だいたいそうですね」と割り切つて答えることができないのが、科学者である。それは、少しでも例外が認められるなら、僅かでも違う可能性が考えられるならば、肯定することはできないという姿勢であり、なによりも謙虚さの表れといつて良い。

【八】「安全側」という言葉を、理系の人はよく用いる。③ この言葉の反対は、もちろん「危険側」である。これから訪ねるところへお土産を持っていくとしよう。ケーキの4個セットにするか、それとも6個セットにするかをお店で迷ったとき、「まあ、6個の方が安全側だね」と言ってしまう。4個では足りない可能性が高くなるから、危険側だという判断だ。しかし、そのケーキがもの凄く高価な場合には、自分の財布にとつては、4個の方が明らかに安全側だ。そこで、科学者は、恥をかく危険性と、現金が少なくなる危険性をなんらかの変換係数を用いて処理し、同じ数字で比べられるようにするだろう。その結果、(C) トータルとして安全側が選ばれる、というわけである。

【九】このように、科学というものは、印象や直感をできるだけ排除し、可能なかぎり客観的に現実を捉えようとする。そうすることで、人間、人生、あるいは社会に利益がもたらされる、と考えられるからだ。科学の目的は、すべて人間の幸せにある。

【十】では、普通の人が、科学的であるためにはどうすれば良いだろう。

【十一】繰り返して述べているように、まずは科学から自分を無理に遠ざけないこと。数字を聞いても耳を塞がず、その数字の大きさをイメージしてみる。単位がわからなければ、それを問うこと。第一段階としてはこんな簡単なことで充分だと思ふ。

【十二】さらには、ものごとの判断を少ないデータだけで行わないこと。観察されたものを④ 吟味すること。勝手に想像して決めつけられないこと。これには、自分自身の判断が、どんな理由によつてなされているのかを再認識する必要があるだろう。理由もなく直感的な印象だけで判断していいのだろうか、と疑つてみた方が良い。

【十三】⑤ 「スコットランドの羊」という有名なジョークがある。沢山の本で紹介されているし、ネットでもさまざまバリエーションを読むことができ、登場人物もそれぞれに違っている。どれがオリジナルなのかはわからないが、だいたいこんな感じである。

天文学者と物理学者と数学者の3人が、スコットランドで鉄道に乗っていた。すると、窓から草原にいる1匹の黒い羊が見えた。天文学者がこうつぶやく。「スコットランドの羊は黒いのか」

それを聞いて、物理学者が言った。「スコットランドには、少なくとも1匹の黒い羊がいる」

すると、数学者がこう言った。「スコットランドには、少なくとも1匹の羊がいて、その羊の少なくとも片面は黒い」

僕なら、ここに、子供を1人登場させ、最後にこう言わせたいところだ。

子供「あれは本当に羊なの？」

【十四】このように、人間は大人になると(たとえ、科学者であっても)、自分が観察したものから、ついつい「勝手に」決めつけようとす。数々の疑問をスキップして、結論へジャンプしてしまうのだ。経験を積み重ねるほど、むしろこのジャンプは頻繁になるし、また距離も遠くなるようだ。たいていの場合は、その着地点は正解であり、結果的にジャンプによつて正解にいち早く⑥ トウタツできる。正解を早く見出すことが、社会で生きていくうえでは重要視されるので、自然にみんながジャンプするようになるのだ。

【十五】しかし、「科学」は、そういった「見切り」のジャンプを原則として許さない。⑦ 一歩一歩段階を踏み、みんなが確かめながら、あらゆる疑問をぶつけ、それらをことごとく解決しなければ、前に進むことができない。それが科学というものの仕組みであり、そのルールが「科学的」という意味なのだ。

【十六】したがって、個人においても、科学的であるためには、あらゆるものを疑い、常に「本当にそうなのか？」と自問することが大切である。

(森博嗣『科学的とはどういう意味か』より)

問 次の一文は、形式段落 1 のいずれかの段落の最後から抜き出したものですが、どの段落に入りますか。最も適当なものをあとのア～オから選びなさい。

◎これ自体は、とても素直なことで、けつして悪いことではない。

問 空欄 A～C に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

- ア. Aーやはり Bーむしろ Cーすなわち
- イ. Aーやはり Bーすなわち Cーむしろ
- ウ. Aーすなわち Bーむしろ Cーやはり
- エ. Aーすなわち Bーやはり Cーむしろ
- オ. Aーむしろ Bーすなわち Cーやはり

(「その2」に続く)

はなかった。譲るべきかどうか悩まなくてはならないこと、席を立つても相手が素直に座ってくれずバツの悪い思いをすること、さらに自分が譲ることとその近辺に座っている人たちに小さな罪悪感を覚えさせてしまうことがいやだったのだ。だから、彼は電車の中でもめつたに座ることがなかった。

彼は降車口の近くに立って、壁面に貼られている結婚式場やエステティックサロンの広告を眺めていた。

その時、不意に声がした。
「これ、もらっただけませんか」
それはごく③オダやかな声だったが、静かなバスの中ではことさら大きく響いた。

彼が声のする方に眼をやると、降車口より少しうしろの二人掛けの席に品のよさそうな老女が座っており、手に半分に切られた太い大根が握られていた。そして、その隣には、すぐ前の一人掛けの席にいる少女の母親と思われる女性が座っていた。どうやら老女がその若い母親に④大根をあげようとしているらしい。

(⑤) ことに若い母親が戸惑っている、老女は弁解するように言った。

「ひとりなもので、一本では多すぎるんですよ。でも、一本でなければ買えないし……」

若い母親が⑥あいまいに頷くと、老女はまた言った。
「これ、もらっただけだと助かるんですけど」

「いえ、でも……」

たぶん、その老女はターミナル駅のどこかの食料品売り場で買い物をしてきたのだろう。そこで大根を一本買った。それはひとり暮らしの生活ではもてあますほど太くて長い大根だったが、その売り場には一本単位でしか売りに出ていなかった。いや、もしかしら、その老女は、たとえ半分売りがあつたとしても、大根は一本で買いたいという思いがある人だったのかもしれない。そして、ビニール袋に入れる際、あまりにも長いため半分に切ってもらっておいだ……

彼はすぐに視線をまた広告に戻したが、その老女を見て母親を思い出さないうけにいかなかった。彼の母親もまた、大根は一本でしか買いたいというタイプだったからだ。

母親は東京から一時間ほど離れた地方都市に住んでいた。父が死んでからは古い借家にひとり暮らししている。狭いマンションで一緒に暮らすよりは気楽だろうと思ひ、また、母親自身もそう言うのでひとりで暮らすという事は、日々の生活の中で、しかし、ひとりで暮らすという事は、日々の生活の中で、こ

(注) *ターミナル駅：鉄道・バスなどの路線の終着駅。

の老女のように大根の半分をどうしようかと悩むことでもあったのだ。彼は初めて母親がひとりで暮らしているというこの意味が理解できたように思えた。これまで、あえてそのことは考えないようにしてきたところがあつたのだ。
「もらっただけじゃありませんか」
老女がまた言った。

「⑦ええ、でも……」

若い母親のためらいの言葉を耳にしなが、なんとかもらっただければいいが、と彼はひそかに願っていた。

「ひとりだとこんなには食べ切れないんですよ」
若い母親は、ようやくもらうべきだと判断したらしく、どういうことになるのかと振り返って見つけていた少女に、ただこうかしら、と相談するように言っているから、老女に向かつて訊ねた。

「ほんとにいたただいちゃって、いいんですか？」
「どうぞ、どうぞ」

「それじゃ遠慮なく」
すると、老女は嬉しそうに言った。

「無駄にならなくてよかつたわ」
そのやりとりを聞いて、彼だけでなく、⑧バスの中にホツとした空気が流れたのがわかつた。

老女は前の席に座っている少女に声を掛けた。
「おいくつ？」

「九歳」

「まあ、大きいのね」
老女はそう言うと、ひとりごとのようにつぶやいた。

「うちの孫の方がひとつお姉ちゃんだわ」
その瞬間、⑨彼の胸が痛んだ。自分にも十歳の息子がいる。その老女が自分の母親でもよかつたのだ。

あるいは、自分の母親も買い物をするたびに大根の半分に心を悩ませているかもしれない。そうした意味では、自分が親子三人で送っている安定した東京での生活も、離れて住む母親にいくつもの小さな悩みを押しつけることで成り立っているといえなくもないのだ。

もちろん、母親と一緒に暮らそうと言つても断るだろう。しかし……とバスの中で彼は思っていた。自分は、席を譲るべき人が目の前に立っているのにもかかわらず、気づかぬふりをして⑩たぬき寝入りをするような男と、ほとんど同じことをしているのではあるまいかと。
(沢木耕太郎『彼らの流儀』より)

問 傍線部①「用が足りていた」とありますが、ここでの意味として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 [12]

ア. 必要とされていた イ. 重宝がられていた ウ. 不足していた エ. 節約できていた オ. 十分であつた

問 傍線部②「座つたあとで、席を譲らなければならなくなるのがいやだった」とありますが、なぜですか。理由の一つとして最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 [13]

ア. 仕事で疲れているので、目前に老人が立つた時、できることなら席を譲りたくないから
イ. 席を譲ろうとしても、相手が素直に受け入れず、気まずい思いをするかもしれないから
ウ. 席を譲ることで、近くに座っている人たちに尊敬の念を持たれることが恥ずかしいから
エ. 席を譲ることによって、まわりの乗客たちに、自分だけが気取つていると思われるから
オ. バスに乗ると、以前お年寄りに席を譲つたときの苦い経験が必ずよみがえってくるから

問 傍線部③「オダやかな」の「オダ」と同じ漢字を含むものを、次のア～オから一つ選びなさい。 [14]

ア. ダンボウ器具 イ. ヘイオン無事 ウ. オンシツ栽培 エ. ヘイワ主義 オ. チョクリツ歩行

問 傍線部④「大根をあげようとしているらしい」の「らしい」と同じ用法を含む言葉を、次のア～オから一つ選びなさい。 [15]

ア. かわいらしい人形 イ. 男らしい性格 ウ. 学生らしい服装 エ. わざとらしい態度 オ. 明日は晴らしい

問 傍線部⑤に入る語句として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 [16]

ア. 理不尽な イ. 重大な ウ. ささいな エ. 唐突な オ. 強引な

問 傍線部⑥「あいまいに頷く」とありますが、どのような様子ですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 [17]

ア. もらつてあげたいが、母と子で食べ切れるかどうかかわからず心配している様子。
イ. いきなりなこと、もらつてよいか、断るべきか、自分でも判断がつかない様子。
ウ. もらつてあげたいが、静かなバスの中で目立つことは避けたいので迷っている様子。
エ. すぐにでももらいたい、厚かましく思われたくないので、周りをうかがう様子。

問 傍線部⑦「ええ、でも……」とありますが、あとに続く言葉として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 [18]

ア. 見ず知らずの方からいただくわけにはいきません。 イ. そんな高価なものを受け取るわけにはいきません。
ウ. 半分ほどいただいただけでは、使い道に困ります。 エ. 人目が気になるのでいただくわけにはいきません。

問 傍線部①「目先の面倒を切り捨てる」ができた」とありますが、どういふことですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。3

- ア. 自分の頭を悩ませる複雑なものを、割り切り、決めつけるといふ単純化の過程で、回避することができたということ。
- イ. 単純ではない複雑なものを、自分が描く将来設計に基づいて、計画的に排除することができたということ。
- ウ. 複雑なものごとに対して一人だけで悩まずに、みんなで知恵を出し合って、民主的に解決することができたということ。
- エ. 自分の将来について、家族や学校の先生からの要望に応える形で、自分で取捨選択することができたということ。
- オ. 世の中のものを「安全側」と「危険側」に分けて、「危険側」には近寄らないようにすることができたということ。

問 傍線部②「科学ほど『謙虚』なものはない」とありますが、どういふことですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

- ア. 科学者はたとえ自分が損をし面倒を抱えたとしても、すべての人間の幸せのために、すべての人々が満足するような可能性を選びとるといふこと。4
- イ. 科学者は自説を主張する際に、社会に対する影響を考えて、自分の考えを曲げてでも多くの人に役立つ「正解」を提供し、社会に貢献しようとするといふこと。
- ウ. 科学者は科学でも何でも解決できると思ひ、社会の様々な面倒を切り捨てて、すべての人々が生きやすい世の中をつくらうとしているといふこと。
- エ. 科学者はある質問に対して少しでも「正しくない」と考えた場合でも、相手が不快になることを気遣って、割り切って「正しい」と答えるといふこと。
- オ. 科学者はある質問に対して「正しい」と肯定したくても、少しでも違う可能性が考えられた場合は、割り切って「正しい」と答えることができないといふこと。

問 空欄X・Yに入る語句の組み合わせとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。5

- ア. X―主体 Y―客体
- イ. X―主役 Y―脇役
- ウ. X―能動 Y―受動
- エ. X―進行 Y―後退
- オ. X―樂觀 Y―悲觀

問 傍線部③「この言葉の反対は、もちろん『危険側』である」とありますが、「危険側」となる例として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。6

- ア. なくしてはいけない書類を、もう一部コピー機で印刷しておいた。
- イ. 自転車の鍵をかけるだけでなく、ひもで近くのものと結びつけた。
- ウ. 朝起きたときはよく晴れていたが、念のため傘を持って外出した。
- エ. 家の鍵を忘れて外出したような気がしたが、そのままにした。
- オ. 普段通りに出勤したが、熱が出てきたので早退して病院に行った。

問 形式段落④「波線部『ない』の中で、意味・用法が他と違うものはどれですか。次のア～オから一つ選びなさい。

- ア. 少ない
- イ. 行わない
- エ. いない
- オ. わからない

問 傍線部④「吟味」の意味として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。8

- ア. 周りの人に伝えること
- イ. 疑問を抱かないこと
- ウ. 念入りに調べること
- エ. 心から楽しむこと
- オ. 声に出して確認すること

問 傍線部⑤「スコットランドの羊」という有名なジョークがある」とありますが、筆者はこのジョークから何を主張していると考えられますか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。9

- ア. 大人は、自身の優位性を保つために、羊が黒いか白いかという小さなことで口論してしまうが、科学的に生きるためには、目の前にあるものの存在自体も疑うべきであるということ。
- イ. 大人は、あるものごとに対していち早く正解を導き出し、社会的に自分が重要であると認められたい存在であるため、目の前の存在がそもそも何かということとは全く気にしないということ。
- ウ. 大人は、たとえ科学者であっても、自分の目の前のことを自分の経験に結びつけて判断してしまうが、科学的に生きるためには、目の前にあるものの存在自体も疑うべきであるということ。
- エ. 大人は、良い立場を獲得するために、目先の利益に対して関心があり議論をするが、みんなを幸せにするためには、そこにいない存在のことも気にかける必要があるということ。
- オ. 大人は、たとえ科学者であっても、自分の目の前のことを観察したものに基づいて判断してしまうが、みんなを幸せにするためには、そこにいない存在も気にかける必要があるということ。

問 傍線部⑥「トウタツ」の「トウ」と同じ漢字を含むものを、次のア～オから一つ選びなさい。10

- ア. フトウな扱いを受ける
- イ. トウシン大の人形を作る
- ウ. 自転車でテントトウする
- エ. 注文がサットウする
- オ. 会員としてトウロクする

問 傍線部⑦「一歩一歩段階を踏み、みんなで確かめながら、あらゆる疑問をぶつけ、それらをことごとく解決しなければ、前に進むことができない」とありますが、どういふことですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。11

- ア. 多くの人々とものごとを一つずつ観察し、様々な例外をみつけ、それを切り捨てなければ、正解とは判断できないということ。
- イ. 一つずつ現実を観察し、多くの人と感想を交換し合い、全員が感動する意見が出なければ、正解とは認識できないということ。
- ウ. 何事にも謙虚になり、例外を検証し、現実を主観的に捉えなければ、社会に利益をもたらしたとは認められないということ。
- エ. 印象や直感を排し、一つずつ例外を検証し、客観的な現実と認められなければ、正解に届いたとはみなされないということ。
- オ. 多くの人々とものごとを一つずつ観察し、例外をみつけ、それが危険かを選別しなければ、謙虚ではないということ。

【二】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題にあたり一部表記を改めました。)

その日、彼は夕方というには少し間がある時刻にバスに乗って来た。取引先の重役の家に不幸があり、彼は出入り業者の営業責任者として、通夜の準備の手伝いに行くところだったのだ。

*ターミナル駅からはタクシーで行くつもりだったが、時間に多少余裕があったこともあり、ファクシミリで送ってもらった略図がバスの停留所からなっていたこともあって、バスで行くことにした。

バスに乗るのは久しぶりだった。都内のマンションに住む彼は、通勤には電車を使うだけであり、仕事ではタクシーと地下鉄でほとんど①用が足りていた。

乗客の大半は女性か老人で、あとは制服姿の中、高校生がいてだけだった。彼がバスに乗り込んだ時、席はまだ二つ、三つ空いていたが、あえて座らなかつた。②座つたあとで、席を譲らなければならなくなるのがいやだったからだ。譲ることがいやなので

問

傍線部⑧「バスの中にホツとした空気が流れた」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

19

- ア. 大根をもらってほしいという老女の申し出を、ほかの乗客が受けずにすんだから。
- イ. 老女の思いが若い母親に伝わり、遠慮することなく母親が大根を受け取ったから。
- ウ. 若い母親の娘が反対せずに、大根をもらうことを認めたことがうかがえたから。
- エ. ものが粗末に扱われる時代に、半分の大根が有効利用されることになったから。
- オ. バスの乗客から運転手までもが、老女の一拳手一投足に関心を寄せていたから。

問

傍線部⑨「彼の胸が痛んだ」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

20

- ア. 半分の大根をもらってあまっていた老女にも十歳の孫がいることを知り、他人事と思わずもつと率先して自分が半分の大根をもらってあげればよかったという後悔の念を持ったから。
- イ. 十歳の息子に対して父親らしいことを何もしてあげられていないことに気づかされ、これからは少しでも一緒にいる時間を作って、息子の面倒を懸命にみようという気持ちを抱いたから。
- ウ. 彼の母親も東京から離れてひとり生活しているため、目前の老女がもてあました半分の大根のように、たくさんの悩みを母親に押しつけて、自分たち家族は安らかに生活しているということが分かったから。
- エ. 母親からの一緒に住みたいという申し出を自分が断ったため、母親は東京から離れた場所でひとり小さな悩みを抱えながら暮らさなくてはいけないことに対して、申し訳なく思うから。
- オ. いくつもの小さな悩みを遠く離れた母親に押しつけることで、自分たちの東京での生活が成り立っていることに気づき、一刻も早く母親を東京へ連れてきて一緒に住むべきであると確信したから。

問

傍線部⑩「たぬき寝入りをするような男と、ほとんど同じことをしている」とありますが、どういうことですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

21

- ア. 実際の状況を見無視して、好き勝手にふるまうこと。
- イ. 周囲と関わることが苦痛で、どうしても我慢できないこと。
- ウ. 現実を直視することが面倒で、投げやりな態度をとること。
- エ. 目の前の出来事に対して、気づかないふりをしてのこと。
- オ. 自分なりに考えて、一つの結論を出そうとしていること。

【三】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題にあたり一部表記を改めました。)

常州の東城寺に、教王房の法橋円幸と云ひて、 寺法師にて、* 学生ありけり。ある時、弟子共に云はく、「世間の人は愚かにて、^① 思ひもよらぬ事を思ひはからひたり。杵一つにて臼二つを搗く様あるべし。一つの臼をば常の如く置き、一つの臼をば下へ向けて吊るすべし。さて杵を上げ下さむに、二つの臼を搗くべし」と云ふ。弟子の云はく、「上の臼には物がたまり候ふべくはこそ、搗き候はめ」といへば、^② 「このXこそありけれ」とて、^③ 詰まりけり。

考えもつかないことを(私は)思いついた

方法

(注) *常州…常陸国、今の茨城県。 *寺法師…滋賀県三井寺の法師。 *学生…学問修行を専門とする僧。

その欠点があったな

(『沙石集』より)

問

傍線部①「思ひもよらぬ事」とありますが、その内容として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

22

- ア. 一本の杵で二つの臼を一人で搗くとき、臼を二つ地面に並べて設置すれば、交互に杵を上へ下へと移動させることによって、一度に二つの臼を搗くことができるという事。
- イ. 一本の杵で二つの臼を一人で搗くとき、臼の一つを地面に置き、臼のもう一つを、杵を持つ人の頭上に吊るして設置すれば、一度に二つの臼を搗くことができるという事。
- ウ. 一本の杵で二つの臼を二人で搗くとき、たとえ杵は一本しかなくても、地面に並べた二つの臼を二人で交互に搗けば、一度に二つの臼を搗くことができるという事。
- エ. 一本の杵で二つの臼を二人で搗くとき、たとえ杵は一本しかなくても、臼の一つを地面に置き、臼のもう一つを頭上に吊るして設置すれば、一度に二つの臼を搗くことができるという事。
- オ. 二本の杵で二つの臼を二人で搗くとき、臼の一つを地面に置き、臼のもう一つを頭上に吊るして設置すれば、一度に二つの臼を搗くことができるという事。

問

傍線部②「上の臼には物がたまり候ふべくはこそ、搗き候はめ」とありますが、その意味として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

23

- ア. 吊るした臼に搗く物がたまるのでしたら、搗けもしましようが、
- イ. 吊るした臼に搗く物がたまるので、搗くことができるはずだ。
- ウ. 吊るした臼に搗く物がたまらないのでしたら、搗くことができるでしょう。
- エ. 吊るした臼にふり上げた杵が届くのでしたら、搗けもしましようが、
- オ. 吊るした臼にふり上げた杵が届くので、搗くことができるにちがいない。

問

空欄Xに入る漢字一字の言葉として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

24

- ア. 技
- イ. 欲
- ウ. 勇
- エ. 難
- オ. 災

傍線部③「詰まりけり」とありますが、だれが、どのような理由で言葉を詰まらせたのですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

25

- ア. この作品の作者は法橋円幸に関する事実を知ったとき、言葉を詰まらせた。
- イ. 東城寺の他の僧侶たちは法橋円幸の発言に納得がいらず、言葉を詰まらせた。
- ウ. 法橋円幸は弟子の言葉から自分の発言の間違いを知り、言葉を詰まらせた。
- エ. 弟子たちは法橋円幸の思いもなかった発言にあきれて、言葉を詰まらせた。
- オ. 世間の人は法橋円幸から愚かであると馬鹿にされて、言葉を詰まらせた。